

令和8年2月19日

<入札説明書、仕様書等に対する質問回答書>

件 名

DNS・DHCP サービスアプライアンス 一式

## 質問回答

### 件名 : DNS・DHCP サービスアプライアンス 一式

No.	仕様書 該当箇所	仕様書の記載内容	質問内容	回答
1	Ⅲ-3.26	DNS 応答性能として最大毎秒 37,500 クエリ以上を満たすこと。	選定予定機器のカタログスペックが33,750クエリとなります。 DNS 応答性能について、以下の仕様に許容頂くことは可能でしょうか。「最大毎秒 37,500 クエリ以上」→「最大毎秒 33,750 クエリ以上」	提示された値でも許容可能です。 仕様を一部変更しておりますので、新旧対照表をご確認ください。
2	IV-1.1	調達機器は、本学が指定する場所(ラック)に収容すること。収容に必要な部材は本調達に含むこと。	収容するラックの情報（メーカー、型番）をご教示お願いします。	ラック情報は以下の通りです。 国立：メーカー型番：不明，W700 H2200 D1000，前後マウントアングル 46U角穴 千代田：メーカー型番：コムラック CRVL-2000-1000，W700 H2000 D1000，前後マウントアングル 42U角穴
3	II-1.4.3	搬入、据付、配線、調整、既設設備との接続に要する全ての費用は、本調達に含まれる。	接続する通信ケーブルの長さを把握する為、Infoblox、UPSとNW機器の間の距離（U数）をご教示お願いします。	Infoblox、UPSとNW機器の間の距離（U数）はいずれも 2m未満（20U）です。
4	III-5.4	UPS と各サービスアプライアンスの連携には RS-232C、USB または Ethernet を使用すること。Ethernet を使用する場合は学内 LAN から独立した経路とし、サービスアプライアンスの IPMI ポートを使用すること。連携に必要なケーブル類、機器類は調達に含めること。	IPMIポートの利用は難しい為、以下の仕様に許容頂くことは可能でしょうか。 「UPS と各サービスアプライアンスの連携にはRS-232C、USB または Ethernet を使用すること。Ethernet を使用する場合は学内 LAN から独立した経路とし、サービスアプライアンスの IPMI ポートを使用すること。連携に必要なケーブル類、機器類は調達に含めること。」→「UPS と各サービスアプライアンスの連携には RS-232C、USB または Ethernet を使用すること。Ethernet を使用する場合は学内 LAN から独立した経路とすること。連携に必要なケーブル類、機器類は調達に含めること。」	提示されたポートでも許容可能です。 仕様を一部変更しておりますので、新旧対照表をご確認ください。